

第 80 回 定例会議開催状況報告

草津市自立支援協議会令和 3 年度 11 月開催分

報告者：草津市立障害者福祉センター 藤澤貴文

開催日	令和 3 年 11 月 18 日（木）13:30～15:10	開催場所	草津市役所 2 階特大会議室
構成機関数	116 機関	出席機関数	41 機関
		出席者数	47 名

議題

- ① 新型コロナ対策プロジェクトの進捗状況について
- ② 各部会、プロジェクトからの報告
- ③ 質疑応答、意見交換
- ④ その他連絡事項、まとめ

議事録

議 題	主な報告内容	意見・質問等
開会あいさつ	草津市中心身障害児者連絡協議会 理事長 園田より 自立支援協議会の初期の頃は、市への要望の会という感じだったが、10年以上経って、何をやる会かというのがようやく分かってきた。（地域の課題をみんなで出し合って、足りない所を一緒に考えていきたいと思いますというもの）	
①について	草津市立障害者福祉センター長より 昨年度、在宅生活困難障害者等支援事業に関連してフローチャート図の作成と手引きの冊子の配布を行った。現在は感染者数が落ち着いているが、第 6 波も懸念される中、資料にあるような構成メンバーでプロジェクトを立ち上げた。 第 1 回目の会議を 12 月 22 日に開催することを決定。他市の情報も参考にしながら草津市での状況を検討していく。 施設連絡協議会が今度保健所を招いて、施設がコロナへの取り組みの中から生じた質問を挙げてそれに答えてもらう会議を持つとも聞いている。事前のアンケートでもコロナ関連の質問があったので、それに答えられるようにしたい。	
②について	○相談支援部会長より 直近での部会開催がなかったので、事前に部会委員に取ったアンケートを紹介させてもらう。 草津市の強みと弱みに分けてピックアップしたものを説明。社会資源が多いという強みがある一方、不足しているという弱みも挙げられており、内容の整理をして優先順位をつけていく必要がある。 ○子ども支援部会（発達支援センター）より 医療的ケアの子どもを対象者の中心として課題の検討を年 2 回程度行っている。構成機関は要領の通り。保護者にアンケート調査を行い、その	

回答として挙げた困り事で主なもの3点を紹介。

- ・ 支援の情報を早く、分かりやすくほしい。
- ・ 子育て（介護）の負担を軽減してほしい。
- ・ 災害時の対応について

1つ目については、相談や療育の情報をどこで聞けるのか？（ライフステージによって窓口も変わり、度々伝えていかななくてはいけない…）

→わかりやすい形がないか検討中。

2つ目については、医療や発達に伴う精神的な不安、負担が挙げられている。

少しずつ身体も大きくなり、入浴介助が大変になってきたり、夜間の覚醒で親の睡眠時間が保てなかったり…。あと、受診先が県内で完結は難しく、他県まで頻繁にいかなくてはいけなかったりもして経済的な負担も大きい。

3つ目については、実際にどうやって避難するのか、小学校などの避難所での過ごしはどうなるのかなど、具体的なイメージがないことでの不安が大きい。

以上のような保護者から出た地域生活の上での課題に、支援者からの視点も加えていってさらに検討を進めていきたい。

☆放課後デイサービスの報告 事業所より

平成24年から児童福祉法に則って放課後デイサービスが始まった。現在、市内に31か所あり、356人の利用がある。小1～高3まで平日の夕方や週末、長期休みに対応。事業所は個別支援計画を作成し、日常生活やコミュニケーションにおいて自分らしく活動ができるように支援している。放デイも10年目になり、支援学校等にも周知されるようになり、過ぎしの場であったり、医療的ケアや重心の利用者に入浴支援をしている事象所もある。それによって家族の負担が減ればと思っている。コロナでの臨時休校によって必要となった居場所の提供+親の就労保障としても地域で生活していくのに重要な役割があると感じている。課題としては、受け入れの人数が多くなってくると、障害特性に応じたマッチングが難しくなる。一つの選択肢としてデイはあるのだが、行動障害であったり、肢体不自由の方の場合、受け入れ先が限られてくるので、他機関との連携も必要なケースもある。

○相談支援体制検討プロジェクト 副PJリーダーより

去年から始まった。仕組みが変わってきている中で、計画相談や一般相談、そして基幹型の支援センターについてなど、草津市としてどんなよりよい形があるかを検討している。

去年は参加機関それぞれから課題を持ち寄ってきたが、今年は6回くらい意見交換をして市の状況が見えてきたので、他の構成員の方々にも分かってもらえるように報告書をまとめているところ。障害児の相談も入ると言えば入るのだが、子ども支援部会からの報告の中でもあったように、法律の仕組みが者（大人）とは全然違っていたり複雑だったりするので、今回は者を中心に検討した。次回の会議では報告できるように取り組んでいる。

○草津地域障害者施設連絡協議会 今年度役員より

③について

各事業所での困り事などを持ち寄っている。年4回程度の開催で、1回目はコロナの影響で中止。2回目は8月に実施し、コロナワクチンの接種状況などについて確認したり、障害者も優先的に接種できるように県に要望したりした。3回目は事業所で取り組んでいることを話し合った上で、保健所に来てもらい、質問に答えてもらおうと考えている。例えば、障害特性のためにマスクができなかったり、黙食ができない場合はどうしたらいいかなど。この結果については、コロナ対策プロジェクトにも反映させて皆さんにも知ってもらえたらと思っている。

(質問)

↓

(回答)

発達支援センターより

特化した検討というのは現状ではできていない。部会だけでは難しいと考えている。まずは保護者からの意見を集約した上で、全体にはかかっていくということをしている。例えば、小児保健医療センターの方でそういう情報があるかもしれないが、県全域から来ているので、草津市や湖南圏域だけを対象にというのは難しい。

あとは、保健所とともに医療的ケア児への訪問をして災害時の要支援状態の把握をしている(災害時の個別支援計画の作成)。ただ、年に1回なのでまだ数例程度であるが。

小学校等での避難訓練にほとんどの人が参加したことがないということも聞くが、避難場所として小学校がいいのか、呼吸器や備蓄の事を考えれば自宅の方が安全な場合もあるかもしれないし、地域で助け合って出来る部分がないかなど、まずは洗い出しからしている段階で、当事者と支援者の双方で具体的に確認しているレベルではない。

(質問)

↓

(回答)

発達支援センターより

部会では、医療的ケア児を中心にしか検討できていない。

全ての障害児を対象に議論を進めていくのかについては、私の一存では答えられない。

(事務局より)

このテーマについて、協議会の中でどのように取り組んでいくか、貴重なご意見として運営会議にも反映させていきたいと考えている。

(質問)

↓

(回答)

放課後等デイサービス事業所より

1日10人が定員。事業所によるが、職員は保育士を含め4~5名程度。活動は、子どもの成長のために運動や遊びをしっかりと行っていたり、子どもらしいプログラム(調理や創作)を提供している。こだわりやル

●通所支援事業所より

子ども支援部会に質問。保護者からのアンケートで不安な事を大きく3つ出たというところで、特に災害時について、第1避難所を想定した時に、行動障害などの特性に対応できるのか?

といえども第3避難所へ行くとしても災害が放デイの時間中に起こったら、誰がどう判断するのか?等について検討が部会でなされているかどうか、もしくは別のプロジェクトチームで特化して検討されていたりするか教えてほしい。

●通所支援事業所より

それはよく分かったが、そもそものところで、障害児の把握は誰がしているのか、想定だけでもしているのかどうか、実際の時にはいろんなことがあると思うので、まずはプロジェクトがあるのかどうか、ないのであれば、地域の人にも協力してもらって方策を考えるとかになると思うが…。

●親の会より

放課後デイのことでもう少し知りたい。子どもは何人いて、スタッフは何名か、年齢が上がってきた時の対応は?

あと、精神疾患を重複した場合のメンタルヘルス研修などは実施されているかどうか?

ーティンをよく観察して何にこだわっていてそこで行動停止しているのか等について考えた上で毎日の活動に取り組んでいる。

(質問、意見)

↓

(回答)

草津市立障害者福祉センター長より

このテーマは児だけではなく者も含めた全体の課題。災害だけではなく、有事の際には今回のコロナで分かったようにどうしても右往左往してしまう。コロナのプロジェクトを防災までテーマを広げて考えていきたい。

(質問への回答として)

(質問)

●親の会より

災害時に重い障害のある子がどのように避難や準備をするのかについて、是非自立支援協議会で検討してほしい。

草津養護学校では、民生委員や消防、びわこ学園なども集まって、防災をテーマにした話し合いをしていてPTAも加わって3年目になる。そこでも、避難訓練に出れる人は少数という話も出ていて、例えば、民生委員にも気軽に相談できないというような保護者側に壁を作ってしまったという現状もある。

第1避難所から第2避難所に行く途中で自家発電の呼吸器がもし切れたらとか、自助の大切さは重々理解はしているが、共助・公助に頼らざるを得ない状況がある。車椅子で移動中にサポートが要ったり、聴覚過敏の子をクールダウンさせる場所が避難所内にあるのか、普通食がダメな子はどうするか等々、本当に可能なのか？ということがたくさんある。「しがモデル」として個別支援計画を作成していることも聞くので、個別で最適なものを考えていくということはまずできることとして進めてほしい。

●通所支援事業所より

重心の生活介護事業所をやっているが、福祉避難所としても登録させてもらっている。定員は45名なので限界はあるが、近隣の方の為にそのような時には準備しておきたいと考えている。

●通所支援事業所より

1つはコロナ対策のことで、3回目のワクチン接種について、おそらくまた医療従事者が先でその

<p>④について</p>	<p>↓ (1つ目への回答) 福祉センター長より 1、2回目でのワクチン接種についての時に市へ要望書を出した。その流れで、3回目についても要望したいと思っている。</p> <p>(2つ目への回答) 心身連理事長 園田氏より にぎやか会にも所属しているので、その立場から言う。2か所の作業所と放デイも10年運営している。ご指摘の通り、障害のある人も学童保育が可能な時代になった。たまたま放デイと同じ場所で日中一時を受けられる場合はいいが、今のところ、この問題を検討する場がない。重心や医ケアを受け止めたいと思う一方で、本人にとって、早朝や夕方の過ごしというのが適しているのかという視点もある。</p> <p>(まとめ) センター長より 草津市として、強みと弱みともいえる課題がいろいろとあるが、自立支援協議会の役割は大きいと感じている。まずは声を上げる、拳がった声を活かして検討していくことをやっていきたい。</p> <p>(報告事項) ☆湖南圏域サービス調整会議の報告 ほっとココより ・日中活動の場の検討チーム会議：生活介護が不足していたが、行動障害への加算がつけられた成果をもって解散。 ・進路部会：作業部会と協働して特別支援学校から事業所への進路やグループホームの状況等についての報告書をまとめた。⇒これについては、あとで資料をもとに説明してもらえる。 ・行動障害支援ネット：1年ぶりに開催。コロナも経ての事業所の近況報告や事例検討を行った。 ・拠点整備プロジェクト：令和5年度の設置に向けて検討中。 ・住まいや暮らしの検討部会：休会中。</p> <p>(報告) ☆湖南圏域サービス調整会議作業部会の報告 時間がないのでかいつまんでの説明。11回開催。P22のグラフを参照してもらえると、就労継続のB型と就労移行が増えたのがわかる。去年に比べて生活介護も増えた。とはいえ、P26にあるように生活介護の創作系は6年後には足らなくなる。</p> <p>(その他、PRや情報提供) ☆新規事業所の紹介 ●はたらこつとより 就労支援に特化した取り組みをこれまでやってきて、同法人の中でセルフプランの方に出会い、やむを得ず対応はしてきたが、地域課題を考えていく中で、相談支援が不足している現状を鑑み、法人として計画相談</p>	<p>後、高齢者施設、福祉従事者は後回しにされるのかなと予想するが、この点についてコロナプロジェクトで検討するか？ 2つは、放デイがこんなに草津市であるというのは改めて知ったが、学校からの卒業生が生活介護へ行く際に、学校時代は夕方まで見てもらえてたのが、急に早く帰ってくるという事態になることは考えられるが、それについての対策は？</p>
--------------	---	---

<p>閉会</p>	<p>を受ける事業所を立ち上げた。A型や移行の方が対象という前提条件はある。</p> <p>☆イベントの紹介</p> <p>●ひまわりの会より</p> <p>「過去は変えられなくても未来は変わる可能性はある」という講演会が2月5日にある。</p> <p>※別添えでチラシの資料あり</p> <p>☆新規事業所の紹介</p> <p>●ディーキャリアより</p> <p>主に発達障害を対象に就労移行の事業所を運営している。場所はキラリエ草津の裏手にて。</p> <p>(情報提供)</p> <p>●雇用支援センターより</p> <p>サビ管の研修について、初任者(基礎)と実践と更新との3本立てで県の自立支援協議会から案内が出ているが、その問い合わせが多数来ているとのこと。それへの回答がウェブで見れるはず。</p> <p>10分ほど時間オーバーして終了。</p>	
-----------	--	--

《配布資料》

- 第78回草津市自立支援協議会開催状況報告
- コロナ対策プロジェクト構成員
- 相談支援部会活動報告
- 子ども支援部会
 - ・草津市医療的ケア児のための協議の場開催要項
 - ・放課後等デイサービスのご案内
- 湖南地域障害児・者サービス調整会議まとめ
- 湖南地域障害児・者サービス調整会議「作業部会」調査報告

< 別添え >

- ・令和3年度草津市障害児(者)自立支援協議会の構成(概念図)
- ・相談支援体制検討プロジェクト会議報告
- ・草津市精神保健啓発事業講演会の案内